

北海道の 学校図書館

発行 北海道学校図書館協会
会長 新津 智哉
事務局長 山口 朱美
<https://hokkaido.sla.gr.jp>
印刷所 (株) 有 伸 商 会
TEL (011)814-6211

第36回 読書感想画中央コンクール 審査終了 第12回 読書感想画全道コンクール

小学校低学年の部



「たぐさんのへいわ」
『へいわって すてきたね』 フロンズ新社 (安里有生/詩 長谷川義史/画)

札幌市立平岡公園小学校2年 吉田也栄音

第36回読書感想画中央コンクール・第12回読書感想画全道コンクールの審査が、1月6日(月)、毎日新聞社北海道支社で行われました。今年も全道からたくさんの作品の応募がありました。小学校低学年・小学校高学年・中学校の3部門から、最優秀賞、優秀賞、優良賞、奨励賞の作品が選ばれました。

残念ながら、高等学校からは今年度は応募がありませんでした。

最優秀賞

中学校の部



「@窓の外」

市立札幌開成中等教育学校3年 土永理咲子
『名著奇変』飛鳥新社 (終サナカほか/著)

小学校高学年の部



「しあわせな国」

札幌市立本郷小学校4年 晒谷 楓
『せかいでいちばんつよい国』光村教育図書 (デビッド・マッキー/作 なががわちひろ/訳)

最優秀賞・優秀賞・優良賞 受賞者一覧

《最優秀賞》

※たくさんへのいわ

札幌市立平岡公園小学校 2年 吉田 也栄音

※しあわせな国

札幌市立本郷小学校 4年 晒谷 楓

※@窓の外

市立札幌開成中等教育学校 3年 土永 理咲子

《優秀賞》

※がんばれ かっちゃん!!

岩見沢市立岩見沢小学校 3年 佐藤 悠侗

※暗い小屋にとじこめられたルイージ。

栗山町立継立小学校 3年 小倉 碧生

※キャベツにぎそうするカマキリ

札幌市立札幌小学校 4年 迫 雅登

※エリンとリランの想いで

北広島市立西部小学校 6年 浜塚 雪那

※話

旭川市立愛宕中学校 2年 吉岡 ひな

※空と心にひらく大きい花

北見市立小泉中学校 2年 飯野 菜々

《優良賞》

※まほうのタブレット

栗山町立継立小学校 3年 國岡 雅

しあわせなじゃがいもばたけ

札幌市立屯田小学校 1年 山上 楓夏

1年生といっしょにドッチボールをしているところ

札幌市立平岡公園小学校 2年 熊澤 ひより

けんどうをやっているのを見ているときがいちばんステキ。

札幌市立平岡公園小学校 2年 宮崎 和平

※秋

札幌市立札幌小学校 4年 佐々木 一颯

オオタカの巣、発見!

札幌市立南白石小学校 4年 草間 蘭々

ドーナツ屋さんに来た子猫

札幌市立伏古小学校 5年 山本 宗一郎

光の人生

岩見沢市立岩見沢小学校 5年 氏家 結菜

※つながれた花火

室蘭市立港北中学校 3年 工藤 維華

驚きと悲しみ

札幌市立新陵中学校 1年 佐藤 琴音

伝えたかった言葉

旭川市立愛宕中学校 2年 美濃島 凧沙

魔法が存在するのは

旭川市立愛宕中学校 2年 星見 那奈

《学校賞》

- ・小学校の部 札幌市立平岡公園小学校
- ・中学校の部 旭川市立愛宕中学校
- ・高等学校の部 該当なし

※=全国行き作品

第36回読書感想画中央コンクール・第12回読書感想画全道コンクール【総評】

本との出会いの喜び、描くことの楽しさが生む豊かな「思い」に触れて

北海道造形教育連盟

東 尚典
(札幌市立旭小学校 校長)

第12回の読書感想画全道コンクールには、昨年よりも応募点数は若干減少したものの、小学1年生から中学3年生までの508点の作品が集まりました。

当日の審査会は、子どもたちの発達段階を考慮し、小学校低学年、小学校高学年、中学校の三部門に分けて審査をいたしました。

低学年では、お話の中から好きな場面を見つけて表したり、お話から想像したことを次々に画面に描いたりして、見ていて楽しくなる作品がたくさん集まりました。先生や友達、家族とお話をしながら想像を広げたり、お話の世界に入り込んで夢中になって描いたりしている子どもたちの様子が浮かんできました。

高学年では、物語の主題を深く読み取りながら自分が表したいこと構想したり、印象に残った場面のイメージを膨らませて表したりした作品が多く見られました。そして色彩や場面の構成を工夫し、これまでに身に付けてきた表現技法を生かして自分らしく表そうとする気持ちが伝わってきました。

中学校では、物語の世界感を深く捉えながら自らの解釈も加えて作品の主題を設定し、作風にも作者の個性が発揮された作品が集まりました。豊かな描画力と独創的な構成力等により作品に込められた思いが伝わり、心が動かされました。

今回、高校からの作品応募はありませんでしたが、全道規模の絵画コンクールにおいて、小・中学校から高校までを対象としているものは貴重です。また、参加した小・中学生にとっても、高校生の優れた作品を目にすることは憧れや目標となりますので、次回にはまた素敵な作品が集まることを期待したいところです。

おわりに、本コンクールへの応募に際し、保護者や学校の先生方など、子どもたちに関わってくださった皆様には、温かいご理解と熱心なご指導を賜り心から感謝申し上げます。また、主催する北海道学校図書館協会と毎日新聞社には、本事業への熱意ある取組に敬意を表します。

本コンクールへの取組をきっかけとして、子どもたちがこれからも読書に親しみ、素敵な本たちと巡り合うことで豊かな情操を培うとともに、感じたことや想像したことをもとに自分を表すことを楽しみ、表現する力を一層高めていってくれることを願っています。

奨励賞 受賞者一覧

奨励賞(小低)

岩見沢市岩見沢小 1年 太田 睦人
 札幌市屯田小 1年 山下新之助
 札幌市屯田小 1年 八木 楓奈
 札幌市屯田小 1年 阿部 琥怜
 札幌市屯田小 1年 池田 怜央
 札幌市屯田小 1年 神 妃鞠
 札幌市屯田小 1年 小西 瑠杏
 札幌市屯田小 1年 高橋 楓太
 札幌市屯田小 1年 湯浅 楓華
 札幌市屯田小 1年 内山 結柗
 札幌市屯田小 1年 今野 葵葉
 札幌市屯田小 1年 田村 瑠希
 札幌市屯田小 1年 安永 一禾
 札幌市屯田小 2年 中屋 凜
 札幌市屯田小 2年 齋藤 紡希
 札幌市屯田小 2年 山田 葵
 札幌市屯田小 2年 和田隆之介
 札幌市屯田小 2年 西山 文乃
 札幌市屯田小 2年 高橋 葵
 札幌市屯田小 2年 伊藤 すず
 札幌市屯田小 2年 久住優衣奈
 札幌市屯田小 2年 内田 陸翔
 札幌市屯田小 2年 相内 悠人
 札幌市屯田小 2年 星野ふうり
 札幌市屯田小 2年 秦 菜々子
 札幌市屯田小 2年 本村駿ノ介
 札幌市屯田小 2年 中嶋 梨乃
 札幌市屯田小 2年 田村 陽太

札幌市屯田小 2年 寺山 春花
 札幌市屯田小 2年 松井 愛
 札幌市屯田小 2年 上川 蘭夏
 札幌市屯田小 2年 嶋田 璃心
 札幌市屯田小 2年 高橋 遥輝
 札幌市屯田小 2年 茨木 結斗
 札幌市平岡公園小 2年 松岡 鈴
 札幌市平岡公園小 2年 高村 侑
 札幌市平岡公園小 2年 森田 貫太
 札幌市平岡公園小 2年 秋山 優杏
 札幌市平岡公園小 2年 高橋 玲乃
 札幌市平岡公園小 2年 遠藤 愛大
 札幌市平岡公園小 2年 小島 奈奈
 札幌市平岡公園小 2年 津田 朝陽
 札幌市平岡公園小 2年 小野里優月
 札幌市平岡公園小 2年 大野 紬稀
 札幌市平岡公園小 2年 遠藤 心紡
 札幌市平岡公園小 2年 清水 陽加
 札幌市平岡公園小 2年 空閑 琢真
 札幌市平岡公園小 2年 若林 優空
 札幌市平岡公園小 2年 庄子 紗愛
 札幌市平岡公園小 2年 岸波 唯椛
 岩見沢市岩見沢小 2年 金子 知広
 岩見沢市岩見沢小 2年 大久保玲奈
 岩見沢市岩見沢小 2年 渡邊 希
 岩見沢市岩見沢小 2年 藤波 花歩
 岩見沢市岩見沢小 2年 小林 廉
 札幌市本郷小 3年 多田 佳純
 岩見沢市岩見沢小 1年 林 穂の果

奨励賞(小高)

札幌市札幌小 4年 佐藤 颯
 札幌市札幌小 4年 太田 和花
 札幌市札幌小 4年 津田悠乃介
 札幌市札幌小 4年 奥野 えな
 札幌市札幌小 4年 牧野 瑠那
 札幌市札幌小 4年 浅野 碧海
 栗山町継立小 4年 岸田 蘭音
 栗山町継立小 4年 大野 結葵
 栗山町継立小 4年 古川れいら
 札幌市伏古小 5年 小野 栞奈
 札幌市伏古小 5年 横井 華姫
 札幌市伏古小 5年 末廣 美幸
 札幌市伏古小 5年 伊藤 みう
 札幌市伏古小 5年 吉田 怜結
 札幌市伏古小 5年 石井 千朝
 札幌市伏古小 5年 奥山 琴子
 室蘭市天神小 5年 鷺見はるか
 札幌市伏古小 5年 大湊 理紗
 岩見沢市岩見沢小 5年 坂上 千寿
 岩見沢市岩見沢小 5年 三嶋 芽衣
 岩見沢市岩見沢小 5年 小野田結彩
 東川町東川第三小 6年 阿部 翔太

奨励賞(中学)

旭川市愛宕中 1年 田中紗優佳
 札幌市新陵中 1年 安藤 柗花
 旭川市愛宕中 2年 武田 聖奈

奨励賞(高校)

該当なし

第57回北海道学校図書館研修講座

日時：2025.1.7 会場：かでの2・7

『GIGAスクール時代の学校図書館～ベストミックスによる機能強化と学びの充実～』

講演：全国学校図書館協議会理事長・専修大学文学部教授 野口武悟氏

講師紹介（北海道学校図書館協会 会長 新津 智哉）

専修大学文学部教授の野口武悟先生は図書館情報学が専門であり、主に学校図書館、読書バリアフリー、電子図書館等の先進的な研究をなさっています。現在、全国学校図書館協議会理事長、放送大学客員教授、文部科学省図書館・学校図書館の運営の充実に関する有識者会議委員、NPOブックスタート理事等多方面でご活躍されています。主な著書には、『読書バリアフリーの世界』（三和書館、2023年）、『「読書バリアフリー」はじめての一步』（学事出版、2024年）他多数あり、精力的に執筆活動もなさっています。

研修各講座に先立って行われた、全国学校図書館協議会理事長で専修大学文学部教授の野口武悟先生の御講演は、学校図書館が学校の中心に位置づけていくべき変遷をふりかえり、これからの時代に学校図書館に求められる姿や学校図書館の可能性をお話ししていただけて、とても有意義な時間となりました。

※

御講演は、①「学校図書館の位置付けに関わるこれまでの変遷」②「『教育の情報化』をめぐる動向」③「子どもの読書活動推進施策とGIGAスクールとの関係」④「求められる学校図書館のデジタルトランスフォーメーションの方略」⑤「生成AIの登場で学校図書館にもたらすもの」⑥「有識者会議の設置と論点」の5部で構成されていました。

第1部では、アメリカ合衆国の20世紀の哲学者ジョン・デューイが、学校図書館を学校の中心に位置づけるべきと唱えたことを受け、日本においても戦後幾度と発表される学習指導要領の中に、授業改善・言語能力の育成・情報活用能力の育成に大きく学校図書館が寄与するものとして捉えられ、2016年の「学校図書館ガイドライン」が文部科学省から通知されるに至るまでの変遷の概要をお話しいただきました。

第2部では「教育の情報化」に鑑み、早急なデジタル環境の整備と活用の促進を受けて、学校図書館が学習・情報センターとして司書教諭を中心に一層機能を充実させるべきとの「教育の情報化ビジョン」が2011年に策定され、さらに2016年には「1人1台端末」の整備を盛り込んだ「教育の情報化加速化プラン」を策定され、2019年の「GIGAスクール構想」に至る経緯をお話しになっていました。つづく第3部では、デジタル社会に対応した読書環境の整備に向けて、公共図書館の電子書籍貸出サービスと連携した読書活動における1人1台端末の活用・推進についてお話しされていました。

さらに第4部では、これからの学校図書館に求められているデジタルトランスフォーメーションは従来の図書資料・書籍すなわち紙媒体だけでなく、CD、DVD、CD-ROMやネットワークを介して得られる情報コンテンツまで広げて取り込んでいくべきであり、それは決して紙か電子かという二者択一的な利活用であってはならず、組み合わせで活用していくことが大切である（ベストミックスが大切）とお話しされていました。第5部では、生成AIが学校図書館にもたらす影響として、司書教諭や学校司書には、これまで以上に確かな情報源にアクセスできる環境の保障や情報活用能力すなわち情報リテラシーを育成していく環境づくりに寄与していく専門性が求められていくことをお話しされていました。

最後の第6部では、昨年2024年10月に文部科学省に設置された「図書館・学校図書館の運営の充実に関する有識者会議」について、①デジタル社会への対応・多様な人々のための読書環境の整備・これからの子供の学びを支える読書環境の充実②関係機関等との連携・協力の促進・今後の図書館、学校図書館に求められる人材の育成などを論点として話し合われていくことを教えていただきました。

今回の先生のお話で、学校図書館はこれまで以上に子どもたちの学びを支えていく機能を充実させなければならないという意識を再び強くもつことができました。野口先生、本当にありがとうございました。

〔北海道学校図書館協会 事務局次長 村山知成（札幌市立札幌小学校 教諭）〕

●第57回北海道学校図書館研修講座・参加者の声

第57回北海道学校図書館研修講座に参加して

夕張高等養護学校 教諭 細川 光

読書が好き、本がとても素敵なものだと感じている・・・大切な感覚ですが、学校図書館に関わるにはそれだけでは足りないのではないかと・・・ここ数年思ってきた漠然とした不安と疑問がありました。偶然、研修講座が行われていることを書面で知り、しかも57回目が行われるなんて、と、急いで申し込み、日頃の悩みの解決の糸口を掴んだ気持ちでございました。

期待していたとおり、充実した内容と情報、実践事例を学ぶことができました。初日午前の共通講座では、ベストミックスなどについて触れられ非常に納得できる学びをさせていただきました。午後、アニメーションの講座に参加し、具体的な教材を囲みながら、作品についてその背景を含めて丁寧に読み解く、問題点などについても触れるなど、実践的な学びができました。アニメーションとは、生きることは楽しいということ、命ある限り感じ続けること、私はそんなことを思いました。二日目の午前には情報活用能力についてグループに分かれた討議が行われ、午後は特別支援学校の図書館運営について実践報告&討議が行われました。この二日目は、午前、午後とも参加者全員が発言できるという積極的な講座で、一人の参加者として主体的に学ぶことを体験できた良い機会であったと思います。

二日間をとおして、参加者の皆さんとの出会いや、お互いの悩みに触れあうことができ、たくさん励ましの声をかけていただきました。安心と自信、少しの展望を持つことができましたと思っています。実践に沿った講座の内容が本当に素晴らしかったです。ありがとうございました。

●第57回北海道学校図書館研修講座・参加者の声

「明日からの実践が楽しみになる研修講座」

士別市立士別南小学校 手塚 尚子

本講座は学校図書館を運営する上での基礎的な考え方や、アニメーション、情報活用体系表についてなど実践的な内容まで、多岐に渡って学べることが魅力であった。2日間の研修を経て、司書教諭という仕事の魅力や可能性を改めて見直すことができる貴重な時間となった。

「GIGAスクール時代の学校図書館を考える」と題した野口武悟先生の講義では、学校図書館の設置目的や価値、そして加速する情報化社会の中で学校図書館の役割を学んだ。基本理念の部分から具体的な手立てまで、積み上げるように学べたことで、情報センター・学習センターとしてよりよく機能する学校図書館づくりをイメージすることができた。

「つくって楽しむアニメーション」では、何か（今回でいえば読書や図書）に興味をもってもらうには仕掛けが必要であり、その仕掛けのために指導者は多種多様な引き出しを準備していなければならない、という気付きを得られたことが大きかった。

「情報活用能力の育成」では、新たに制定された体系表の説明、また参加者同士での交流を経て、新旧体系表の違いや指導の重点を確認した。講座を受けていなければ気づかなかった観点も多く、すぐにでも勤務校で実践したい内容であった。

貴重な場を設けてくださったことに、感謝するとともに、本講座を通して学んだ知識や考え方を、実践していこうと気持ちを新たにすることができる貴重な場であった。



●第57回北海道学校図書館研修講座・参加者の声

「実践から学ぶ」

北海道帯広盲学校 吉田 聡 美

読書活動や「学校図書館利用」の充実のための具体的な方策を学びたいと思い、今回初めて学校図書館研修に参加しました。

講演「GIGAスクール時代の学校図書館～ベストミックスによる機能強化と学びの充実～」では野口武悟先生より図書館・学校図書館の運営の充実に関する有識者会議についての情報や読書と学びに有効な電子コンテンツの提供などがあり、図書館や図書の様々な情報を得ることができました。

講義・実習「つくって楽しむアニメーション」では、佐藤広也先生から教科書にでてくる「鳥獣人物戯画」の題材を深く読むために、実物大の巻物を見せて頂きました。教科書に出てくる場面は巻物を10メートル広げたところにあることを知ることができ、具体物を提示することの大切さを再認識しました。

また、絵本の読み聞かせでは、講師の先生が本に出てくる登場人物に変身し、子どもたちがわくわくする仕掛けを実践しながら教えて下さり、具体的な活動を通して学ぶことができました。



交流「読む気にさせる！仕掛けづくり」や討議「図書館メディアの活用とその指導～特別支援」では講師の先生や、参加されている学校司書や教員の皆さんの実践をお聞きすることができ、様々なことを学ぶことができました。

今回第57回北海道学校図書館研修講座に参加して、改めて図書館の魅力と様々な仕掛けで子ども達を引きつける工夫を多く知ることができ、とても充実した時間を過ごすことができました。今回の研修の成果を毎日の図書館業務に生かしていきたいと思っております。ありがとうございました。

●第57回北海道学校図書館研修講座・参加者の声

「求められる学校図書館」

北海道置戸高等学校 教諭 三好 菜穂子

今回の研修講座に初めて参加し、1日目講演「GIGAスクール時代の学校図書館を考える」、選択講座「学校図書館BASIC」、2日目選択講座「情報活用能力の育成」について学びました。学校図書館の意義、歴史的背景、センターとしての役割など講師の方々のお話を聞くことができ、学校図書館の必要性を改めて実感することができました。

私の学校では町の移動図書館車が本校に月に1回来ています。本校は職業校ということもあり、生徒が校外実習等でなかなか本を読む機会が少ない現状がありますが、町と連携しながら少しでも読書活動に向けて図書委員を中心に声掛けなどを行い読書活動への取り組みを行っております。また、委員会の活動の中では本の紹介を行うポップ作りも行い、町の図書館に掲示させていただくなどして地域の人にも本の魅力を伝える取り組みをしています。野口先生による全体講演を拝聴し、町との連携、協力の必要性を再認識し、今後も町の図書館と連携、協力を引き続き行っていきたいと感じました。本校は電子書籍の導入は未だにない状況ですが、学校における電子書籍サービスの導入につ



いても今後考えていく必要性を感じました。電子媒体も選択できるように環境を学校図書館が整えることにより、「紙」と「デジタル」の選択の幅が広がり、その中でベストミックスを見つけ、子どもたちの可能性を引き出すことに繋がっていきけるような取り組みも大切であることを実感しました。

研修講座を受講して、学校図書館だからこそできることを多くの事例を通して教えていただきました。今後実践できることを少しずつ取り組んでいきたいと思えます。このような貴重な機会を設けていただきありがとうございます。また機会があれば参加させていただきたいです。

●第57回北海道学校図書館研修講座・参加者の声

人がつながる、ここがつながる空間づくりをしたい

芦別市立上芦別小学校 教諭 大林 幸子

子どもの頃から本を読むことが好きだった私は、本・読書の楽しさを共有できないかなあ、なにかできないかなあと、拙いながらも学校図書館運営を行ってきました。

今回の研修講座は残り数週間しかない図書館運営の中で、私はもっとなにかできないだろうか？と知恵が欲しくて参加しました。

共通講座の野口武悟先生の講演で、一番印象に残ったのは「学校の中心に図書館を」「場所としての大切さ（サードプレイス）」でした。「子どもたちが自分から学びたい！」「図書室が居場所だ。」と思ってもらえるような空間づくりをしようと思いました。また、GIGAスクールの時代の中で、デジタルと紙媒体のそれぞれの良さを活かしつつ、子どもたちに紹介できたらいいなと思いました。

選択講座では「つくって楽しむアニメーション」「読む気にさせる！仕掛けづくり」に参加させていただきました。本・読書とアニメーション・・・！？私にとっては謎すぎて何ものか知りたい一心で参加しました。教科書の題材でもある高畑勲さんの鳥獣戯画を取り扱ったお話から、「もの」「文章」を見極める大切さ、その裏に隠れているものの感じ方、そして裏付けされたしっかりとした基礎があって、子どもたちにどのように楽しさを伝えていくのか。改めて知ること、自分が楽しむことの大切さを感じました。

2日目の仕掛けづくりの交流では、他の地域のそして様々な職種の方とたくさんお話できてよかったです。読書回転寿司では、自分だけでは出会うことができないだろう素敵な本たちと出会えました。グループの方たちが選んだおすすめ3冊、自分とは視点の違う選書に驚きと嬉しさがいっぱい溢れ、いっぱいメモメモ。

この2日間、こんなにも本を愛し、子どもたちのために日々研鑽し実践している方たちがいるんだ！とものすごく感動し、運営していただいた皆さんに感謝の気持ちでいっぱいでした。本当にありがとうございました。

2024年度(令和6年度) 北海道の先生がおすすめする本

北海道指定図書

小学校低学年の部(1・2年)



あおをはっけんしたちいさなヤン
 みならい えかきの おはなし
 ジャン・リュック・アングルベール/作 はしづめ ちよこ/訳
 イマジネーション・プラス 1,870円
 昔画は貴重な絵の具でした。偶然簡単に作る方法が発見され、青は浮世絵等にも使われました。



いつかきっと
 アマンダ・ゴーマン/文 クリスチャン・ロビンソン/絵
 さくま ゆみこ/訳 あすなろ書房 1,650円
 こまったことがあるときどうする？ どうしようもないこととあきらめないで…！ ささやかだけど力強い愛と希望の物語。



いえ あるひせんそうが はじまった
 カテナ・ティホゾーラ/作 オレクサンドル・ブロードン/絵
 すぎもと えみ/訳 汐文社 1,870円
 ぼくはこのいえに、パパとママといぬとすんでいた。でも、あるひ…。ウクライナで続く戦争でいえをうばわれた男子の物語。



そんなことも知らないの？
 パク・ジョンソプ/作 なかやま よしゆき/訳
 フレーベル館 1,760円
 ウソの情報にだまされてパニックのサカナたちをユーモラスに描き、フェイクニュースに動揺する社会を風刺した絵本。

小学校中学年の部(3・4年)



錦鯉を創る
 新潟から 世界へ
 松沢 陽士/写真・文 小学館 1,430円
 江戸時代に誕生し、今やその美しさで世界中に愛される錦鯉。錦鯉を育み、新品種に挑戦する養鯉場に密着した写真絵本です。



夢への扉を開け!
町田瑠唯
 ベースボール・マガジン社/編
 ベースボール・マガジン社 1,980円
 東京五輪で銀メダルを獲得した女子バスケの立役者・町田瑠唯さんのあゆみを追いました!



じゅげむの夏
 最上一平/作 マメイケダ/絵
 佼成出版社 1,650円
 四年生の夏休み、難病を抱える親友のために一致団結した少年たちが、いのちを謳歌する姿をみずみずしく描いた童話。

中学校の部



あした、弁当を作る。
 ひこ・田中/著
 講談社 1,540円
 中学生男子の反抗期を「弁当作り」というユニークな切り口で描いた児童書。ユーモアたっぷりの反抗期の心情は必読です。



夜空にひらく
 いとう みく/著 杉山 巧/装画
 アリス館 1,760円
 暴力事件をおこした円人は、花火師の深見の家で暮らすことに。人の優しさ、あたたかさを知り、居場所を見つけていく。

小学校高学年の部(5・6年)



ぼくはうそをついた
 西村 すぐり/作 中島 花野/絵
 ポプラ社 1,650円
 戦争を、どこか遠い昔の事のように感じていたリョウタ。祖父の話をきっかけに、今も消えない原爆の傷について考えます。



給食が教えてくれたこと
「最高の献立」を作る、ぼくは学校栄養士
 松丸 爽/著
 くもん出版 1,540円
「最高においしい!」給食を作るため、壁にぶつかりながらも挑戦を続ける現役栄養士の熱血お仕事ノンフィクション。



図書館がくれた宝物
 ケイト・アルバス/作 榎田 理絵/訳
 徳間書店 2,090円
 第二次大戦下、ロンドンから疎開した両親のいないさようだいは、親代わりにする人を求め…？ 心あたたまる物語。



北海道の本を読みましょう!



第70回 青少年読書感想文全道コンクール 第50回 北海道指定図書読書感想文コンクール

- 主催 / 北海道学校図書館協会・毎日新聞社北海道支社
- 後援 / 北海道・北海道議会・北海道教育委員会・公益財団法人北海道青少年育成協会 ■選定協力 / 北海道読書推進運動協議会

学校図書館情報

◆2025年度北海道学校図書館協会 定期総会開催

日時：2025年5月10日（土）

場所：かでの2・7

※昨年とは会場が異なります。

多くの関係者の皆様にご参会いただけますよう、ご予定をお願いします。

◆第70回青少年読書感想文全国コンクール表彰式

表彰式は、2月6日（木）に行われました。北海道からの受賞者は次のとおりです。

<サントリー奨励賞>

○旭川市立神楽小学校 4年 柚木晃太郎さん

「プラスチックがぼくを変えた」

○苫小牧市立拓男小学校 5年 中 拓生さん

「夜空に輝くお月さま」

今年も北海道の子どもたちの作品が全国コンクールで優秀な成績を収めることとなり、とても喜ばしく思います。これまで各支部の取りまとめや審査に協力いただいた皆様に改めてお礼申し上げます。次回のコンクールにおいても子どもたちのために皆様のお力添えをお願いいたします。

◆各県SLA事務局長会議開催

2月5日（水）にオンラインで開催されました。第45回全国学校図書館研究大会札幌大会について進捗状況を報告しました。また、各地区の学校図書館研究大会について交流し、読書感想文コンクール、読書感想画コンクールの審査等について協議しました。

◆第57回北海道学校図書館研修講座終了

今年も学校図書館研修講座を盛会のうちに終了いたしました。参加者数102名。全国学校図書館協議会理事長・専修大学教授 野口武悟先生の内容濃いご講演から、指導者研修講座（全道部長会）、各選択講座まで、充実の内容であったことをご報告いたします。

◆第45回全国学校図書館研究大会札幌大会

いよいよ、来年、令和8年8月10～12日札幌大会が開催されます。先日12月27日には、前回高松大会事務局の方々とオンラインによる引継ぎを済ませ、札幌大会への動きも加速します。北海道SLA関係者の発表やご協力をよろしくをお願いします。

◆「北海道の読書」の販売について

1月に読書感想文コンクール作品集「北海道の読書」の発送作業を終えました。今号より、小学生から高校生までの作品を一冊にまとめた形での発刊となりました。まだ残部がありますのでお声がけいただき、追加注文がありましたらお申込みください。

事務局

事務局長 山口 朱美（札幌市立山の手小学校教頭）

事務局校 札幌市立山の手小学校

〒063-0835 札幌市西区山の手5条6丁目1-1

TEL 011-621-0439 FAX 011-613-1957

Amenity B-Coat

本の破損や汚れを防ぎながら、抗菌効果を発揮するブックカバー「アメニティBコート」ポリプロピレンフィルムのため、燃焼時にも塩素ガスなど有害物質が発生せず、安心です。ご指定の上ご愛用下さい。

キハラ株式会社

〒062-0035 札幌市豊平区西岡5条3丁目8-15

TEL (011) 857-3331

FAX (011) 857-5211

◆新刊紹介

『子どもの読む力を育てよう！
家庭で、園で、学校で』

小川 三和子 著

発行 青弓社

A5判 216ページ

定価 2200円+税

ISBN978-4-7872-3540-4

C0037

書店発売日 2024年9月9日



子どもたちの成長に欠かせない本との出会いや読書との向き合い方を、家庭や教育現場、図書館での実践もふまえながらわかりやすくガイドする。さらに、年齢ごとにお薦めの絵本や児童文学も多数紹介。豊かな心を育てるための魅力あふれる読書環境づくりの教科書。

編集後記

今年度も機関紙4回を発行することができました。また、例年通り、「読書感想文コンクール」「読書感想画コンクール」「研修講座」等の事業を展開することができました。道教育長様はじめ教育局・教育委員会様、北海道学校図書館協会各支部にて業務にあたってくださっている皆様、毎日新聞社札幌支社様、各協賛企業の皆様他、多くの関係の皆様を支えられながら協会の業務運営が成り立っていること、心から感謝申し上げます。

今後も変わらぬお力添えをくださいますよう、どうぞよろしくお願い致します。

（編集：村山 知成 野村 邦重）
大久保 雅人 山口 朱美

ホームページアドレス

<https://hokkaido.sla.gr.jp>